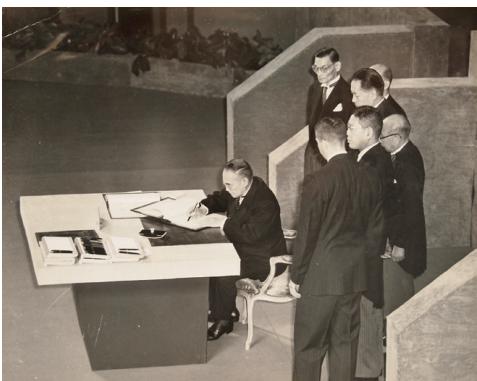


大磯と東京オリンピック1964

1964年（昭和39）10月10日から24日、第18回オリンピック競技大会が東京で開催されました。このオリンピックは、日本で初めて開催されたオリンピックという歴史的なイベントとして、今でも語り継がれています。大磯でも、大磯ロングビーチホテル（現在の大磯プリンスホテル）がヨット競技の選手村になり、聖火リレーが行われました。東京オリンピック1964が大磯という地域に与えた影響を、改めて振り返ります。

1 1964 という時代

1964年は、和暦でいうと昭和39年。東京オリンピック1964は、昭和30年代の高度経済成長の象徴としても語られます。また、東京での開催は、戦争によって開催を返上した第12回大会からの悲願でもありました。当時の時代背景をまとめます。

東京オリンピックや世の中のできごと	大磯のできごと
1936年7月31日 第12回大会の開催地に、東京が選ばれる	
1937年7月7日 蘆溝橋事件、日中戦争のはじまり	
1938年7月15日 東京大会の中止決定	
1941年12月8日 ハワイ真珠湾空襲、太平洋戦争開戦	
1945年8月15日 終戦	
1951年9月8日 サンフランシスコ講和条約調印	 大磯町・国府町合併協議の成立
 条約に調印する吉田茂内閣総理大臣	1954年12月1日 大磯町・国府町合併
	1956年11月22日～12月8日 メルボルン・オリンピックに大磯町出身の二宮英雄が競泳背泳ぎ代表として出場
	 大磯中学校の校庭で開かれた二宮英雄の壮行会
	1957年7月14日 大磯ロングビーチ開業